

Money&Investment

厚生労働省が先日発表した2012年の人口動態統計で、死亡数が統計を取り始めて最多を記録した。死亡数が増加する中で改めて注目を集めようなのが人の死に伴う費用。最近では葬儀や墓などを簡略化する人も増えているが、一方で従来のスタイルで執り行った場合の相場もよく分からないとの声は多い。葬儀と墓、遺品整理の3項目について調べてみた。

事前に見積もりを

【葬儀】親や配偶者など家族を亡くした場合、まず考えるのが葬儀だ。2010年の日本消費者協会の調査で、葬儀について知りたい事項で最も多かったのは「費用」。全体の7割近くに上った。

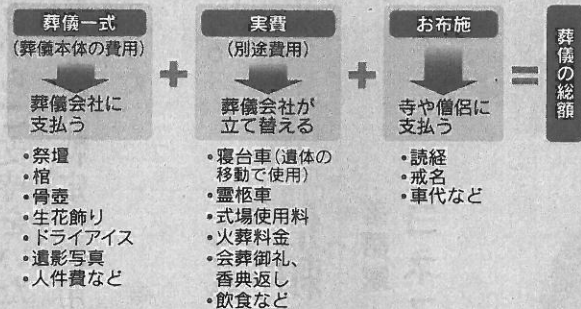
葬儀関連会社から独立し、個人で葬儀支援事業を手掛ける市川愛さんによれば葬儀の総額は祭壇や棺(ひつぎ)など葬儀本体にかかる葬儀一式、飲食など別途費用の実費、寺に包むお布施の3つの合計だ。葬儀会社のホームページやチラシは各種プランやセット料金を表示しているが、葬儀本体や、本体と実費の一部だけという場合も多い。

日本消費者協会の調査では総額の全国平均は約200万円。規模や会葬者の数が多様なため、最低額と最高額の差が大きい。

経済産業省の調査によると12年度の葬儀会社の1件当たりの平均売上高は140万円。お布施の平均約40万円を加えた180万円程度が全国平均との見方もある。香典で補うとしても、150万〜200万円程度は想定したい。「見積もりを検討する時間があったよかった」と振り返る

亡くなるといくらかかる？

葬儀の総額は3つの費用の合計



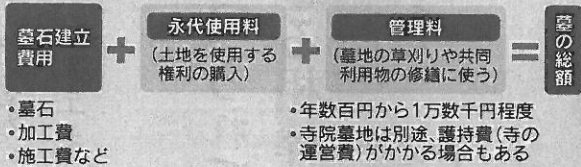
平均は199.9万円

(単位:万円)	最低	最高	平均
北海道	50	250	147.2
東北	32	810	233.6
関東A	100	400	228.2
関東B	35	500	222
中部A	40	350	221
中部B	120	412	213.4
近畿	50	500	194.1
畿国	100	300	192.3
中国	20	210	105
四国	30	300	146.3
九州			199.9

(注)項目は主に関東の場合。葬儀相談員・市川愛さんへの取材を基に作成

(注)日本消費者協会の調査(2010年)を基に作成。関東Aは茨城、栃木、群馬、千葉、関東Bは埼玉、東京、神奈川、中部Aは新潟、富山、石川、福井、中部Bは山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

墓の総額は墓石建立費用と永代使用料がほとんど



葬儀費用 199.9万円 + 墓費用 183万円 + 遺品整理 30万円程度 (1人暮らしで2部屋・台所の場合) = 単純計算で 412.9万円 が一つの目安

(注)鎌倉新書の調査(2012年12月)を基に作成

日本消費者協会や鎌倉新書の調査をもとに人が亡くなった場合の費用を試算すると、約413万円が一つの目安になる。あらかじめ用意したいが、突然の死去などですぐに工面できない場合もある。

葬儀費用向けの少額短期保険(ミニ保険)は保険金支払いが迅速で急な葬儀にも対応できるため、加入者が増えている。N P少額短期保険(東京・千代田)の「葬祭費用安心プラン」は、入院治療中であれば15〜79歳のだれでも加入でき、99歳まで

急な出費、保険・ローンで

更新可能。保険金90万円のプランの場合、年間の保険料は60代なら2万100円、70代は3万5100円だ。保険請求書と死亡診断書をファクスなどで送付すれば、継続契約の場合、翌営業日には保険金が支払われる。ローンもある。ジャックスやオリエントコーポレーションなど信販会社が提供し、代理店となる葬儀社を通じて申し込む。審査は速く、分割払いも可能だ。信販会社は墓を対象にしたローンも扱い、石材会社など代理店を通じて申し込む。

葬儀や墓のスタイル多様

費用の合計を総額とする指標もある。墓は運営主体によって寺が所有する寺院墓地、自治体の公営墓地、公益法人や民間企業などの民間霊園に分類できる。寺院墓地は故人の供養をするにはいい環境だが寺の檀家になり、行事への参加やお布施などが求められる。公営墓地はどの自治体にもあるわけではない。新規の募集をしていないが、競争倍率が高かったりする。民間霊園は募集は多いが、施工する石材店が決まっているなどいずれも一長一短がある。

葬儀や墓の事情に詳しい第一生命経済研究所主任研究員の小谷みどりさんは「地方では寺院墓地、都市圏では民間霊園を選ぶ人が多い。費用は100万〜300万円程度」と話す。

供養・私事関係の調査・相談業務や出版を手掛ける鎌倉新書(東京・中央)によれば、同社のサイトに問い合わせるとして墓を購入した人の平均価格(墓石建立費用+永代使用

料)は183万円。地域差は大きく、東京都、神奈川県は200万円を大きく超えた。

【遺品整理】故人が一人暮らしだった場合、家の中をそのままにしておくわけにはいかない。遺品物件なら、早急に片付けたいと家賃が加算される。最近では専門業者に遺品整理を依頼する遺族も増えてきた。

遺品整理を全国で展開するキーパス(東京・大田)は02年の創業で、年間業務は1500件に達する。「一人暮らしで最も多い2間プラス台所の場合、費用は約30万円」と話すのは吉田太一社長。遺品は約2割に上り、費用には廃棄物処理や家電リサイクル法に基づく代金なども含む。一軒家の場合は遺品が増える。同社は家の解体も請け負えば、200万〜300万円かかることもある。(吉田社長)という。(土井誠司)